

～自己を乗り越えて～

11月22日（金）、午前中に持久走大会、午後は、2学期末授業参観、学級懇談を行いました。そして、音楽会も開催し、行事が盛りだくさんな1日となりました。ご多用の中、多くの保護者の皆様が足を運んでくださり、大変有意義なものとなり、改めてお礼申し上げます。

午前中の持久走大会は、天気にも恵まれ、大田こども園のお友だちと地域の方々も、応援に駆けつけてくださいました。

前日には、陸上競技に詳しい地域の阿部さんが、走り方の指導に来てくださり、“腰の位置を高くすることを意識して走る”“上げた足をそのまま下に下ろす”“勢いよく走り始めがちだが、最後まで力を残し、最後にダッシュをする”等、走り方のコツを教えてくださいました。



いよいよ本番です。低学年の部、中学年の部、高学年の部に分かれて、時間をずらしてのスタートです。

低学年は、若干ダッシュ気味のスタートでしたが、すぐに自分のペースを取り戻して走っています。高学年は、さすが初めからスピードを上げることはなく、自分のペースで走り始めます。



途中少しずつ、友だちとの差が開き出します。しかし、持久走週間で練習したように、誰もが自分のペースを守り走り続けます。前を見つめ、真剣な表情で、腕もしっかりと振っています。その子どもたちの頑張りに、観ている子どもも大人も、大きな声援や拍手を送っています。

最後の1周。子どもたちは、残る力を振り絞ってスピードを上げます。力強い走りです。観客の声援や拍手も一段と大きくなる中、全員ゴールを切ることができました。

走る速さに違いがあれど、自分の目標タイムに向かって懸命に自分に挑戦する姿は、誰もがまさに1等賞でした。



～多様な見方に触れて・・・～

午後の授業参観。1年生の教室を覗くと、算数の学習をしています。縦4マス、横5マスの表が、先生から提示され、一つ

一つのマスの中には、「ねじ」「金槌」等のさまざまな道具が描かれています。この時間は、マスの左下に位置するロボットが、目的の道具の位置にたどり着くために、ロボットをどのように一マスずつ動かしたらよいか、動きの組み合わせ方を考える、プログラミング教育にもつながるものでした。

また、これまで「左から〇番目」といった線を軸とした一次元の位置の把握や表し方を学習してきた1年生が、今度は縦と横の面の二次元のものを見方を学ぶ学習でもありました。

子どもたちは、「ドリル」の道具にたどりつくために、「上に進む」「右に進む」という2つの動き方を使って、実際にロボットの絵を表の上で動かし、動きの組み合わせを見つけ出しています。

見つけた動き方の発表で、「上に進む、右に進む、右に進む」、「右に進む、右に進む、上に進む」と、2種類の動き方を発表することができました。それぞれの動き方毎に、先生が、テレビ画面に映し出した表を使いながら、発表の通りにロボットを動かして見せ、ロボットがちゃんと「ドリル」に到着することができることをクラス全員で確認しています。

しかし、まだ見つかっていない別の動き方もあるようです。

先生が、「まだ他の動き方ないかな？」と、子どもたちに投げかけます。この問いを受け、子どもたちは、別の動き方を見つけ始めます。ロボットをあれこれ動かしながら、残りの動き方の「右に進む、上に進む、右に進む」を見つけ出すことができました。



この時間は、数を扱う普段の算数とは少し違った学習内容で、子どもたちはまた新たな算数の楽しみを味わっていました。そして、ロボットの動き方を見つける中で、答えは一つでなく、多様な見方ができることを知る機会にもなったようです。

他の教室では、“自分が書いた説明文を発表する” “詩の朗読の仕方を考える” “自然とともに生きることについて考える”等の授業が展開されました。教室の様子を実際に目にしながら、子どもたちの成長を感じられたのではないかと思います。

今後も、保護者の皆様と手を携えながら、子どもたちのために尽力してまいります。

